

コンピテンシーを軸にした附属天王寺型 STEAM 教育開発

大阪教育大学附属天王寺中学校、同附属高等学校天王寺校舎の教員の日頃の研究成果を所収した附属天王寺中・高「研究集録」第66集を発刊させていただき運びとなりました。本校の教育・研究に日頃よりご指導、ご支援を頂いている皆様方に、心よりお礼申し上げます。

大阪教育大学の附属学校の中で天王寺地区は、中高一貫したSTEAM教育の研究を令和3年度より令和6年度までの計画で推進しています。STEAMとは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学・ものづくり）、Art（芸術・リベラルアーツ）、Mathematics（数学）の5つの単語の頭文字を組み合わせた教育概念で5つの分野の学習を通して、子どもを今後のIT社会に順応した競争力のある人材に育てていくための教育方針です。自分の力で学び、理解し、さらに考える力を育むために、実験や作業といった体験を通じて、深く知りたいという興味や探究心を育むことがSTEAM教育の第一段階です。昨年度の本校教育研究会では、中高一貫教育でのコンピテンシー（単なる知識や能力だけではなく、技能や態度をも含む様々な課題に対応することができる力）を伸ばす教育について、3年ぶりの対面形式の開催でその可能性と課題を試しました。今年度はそれを進展させ、「コンピテンシーを軸にした附属天王寺型STEAM教育開発」と題し、教育研究会を開催しました。今後はSTEAM教育による一貫教育の研究を、最終的には附属天王寺小学校を含めた12年間を見通したSTEAM教育のカリキュラムを作成することを目標としております。

このように新たに動き始めた教育研究の成果の一端を、この研究集録に収めております。附属学校の役割は、先進的な教育実践の例を示し、長い歴史の中で蓄積した研究を継続し、研究校としての役割を果たすこととございます。引き続き「附属天王寺型の一貫教育」を発展させるために、教育・研究を積み重ねてまいる所存です。研究のさらなる前進のために、ご批判、ご指導を今後ともよろしくお願い申し上げます。

大阪教育大学附属天王寺中学校 校長
大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎 校舎主任
小西 啓之